



第7号

港北区体育指導委員  
連絡協議会広報紙

# 汗の生み出す体指

KOHOKU

No. 7

平成10年12月21日発行

発行者  
港北区体育指導員連絡協議会

編集  
港北区体指協広報委員会

事務局  
港北区大豆戸町26-1  
港北区役所地域振興課内

☎ 045-540-2240  
FAX 045-540-2245



## 第3回 ペタンク大会を実施

港北区体育指導委員連絡協議会では、今年で3回目を迎える平成10年度港北区ペタンク大会を、去る9月6日(日)新横浜少年野球場にて実施しました。当日は前線の影響で天候が心配されましたが、幸いにも雨は降らず予定通り大会を開催することができました。

今大会は、区内在住・在学・在勤者からなる54チームが参加して行われ、午前中の予選リーグを勝ち抜いた16チームにより行われた午後のトーナメント戦は、白熱した好試合が展開され、会場を大いに盛り上げました。

前回大会の成績優秀チームが翌年不振に陥るジンクスは今年も健在で、今年も昨年ベスト4のうち3チームが予選落ちの結果に終わりました。その一方で台風の目となったのが一般参加の「K-グリーン」チーム。監督兼任のお父さんに、小学生の息子さん2人の親子参加チームならではのチームワークと頭脳的プレイで前回大会予選落ちから一転の快進撃で、優勝の栄冠に輝きました。

の配分が違う」と言う声で、目印のテープを張り直してスタート。私は第一試合の審判で、選手及び応援の人々の中にはベテラン体指が多く、頭の中が真白となり、冷汗タラタラ。しかし、彼等に多いに助けられ、何とか役目を果たす事ができ、次の試合からは度胸が付きました。

決勝戦は、一般参加の親子チームと大曽根地区のチームで双方共、思い描いたとおりにボールを飛ばし、これぞペタンクと言う様な試合で、ペタンクの楽しさや、戦術等を観戦者全員にアピールしました。優勝は親子チームでした。

回を重ねる度に、参加者全員の技術向上が見られ、体指の使命の一つである「新しいスポーツの振興と普及」が着実に進んでいる事を確信しました。来年の大会も、多くの方々の参加と技術向上で盛況となる様、地域に働き掛けていきたいと思います。

(篠原地区 宮崎 裕子)

### ◆ペタンク大会に役員参加して

動員要請の時、我々の地区は例年受付の仕事が多かったので、女性2名が受けました。しかし、私は審判との報を受け、慌てました。何故なら、講習は何年前に受けた事はありませんが、地域で活発にペタンクをやっていないし、大会は見ても細かいルール迄しっかり頭に入っていなかったと云う状況でした。毎日ルールブックを読み、それを手にしながら、町会の選手と一緒に練習し、何とか自信を付けて大会に臨みました。

当日は、準備も進みいざスタートと云う時に「ボール

### ◆優勝チームのコメント

優勝チームの「K-グリーン」は、監督の浅井春夫さん親子3人で参加のチーム。浅井さんは2年ほど前に知人のコミュニティスクール関係の方に誘われペタンクを始め、これまでにいくつかの大会に参加してきました。浅井さんは、「ペタンクは技術、作戦が半々のスポーツなので、技術を磨くとともに技倆に見合った作戦を立てれば、どのチームももっと強くなれると思います。ペタンクは歳をとってもできるので、末永く家族で楽しみたいと思っています」と優勝の感想を語ってくれました。

### ◆第3回 港北区ペタンク大会 トーナメント結果 (10.9.6実施)

Aブロック勝者	ベ単Q	3	}	6	}	13	}	4	}	決勝戦
Bブロック勝者	K-グリーン	11								
Cブロック勝者	網島ピュア	11	}	6	}	10	}	4	}	3位決定戦
Dブロック勝者	太尾ライオンズ	3								
Eブロック勝者	富士塚B	3	}	2	}	13	}	10	}	
Fブロック勝者	高田倶楽部	10								
Gブロック勝者	網島れんげ草	11	}	11	}	1	}			
Hブロック勝者	日吉B	1								

6	Iブロック勝者	網島TCC
9	Jブロック勝者	高田MNM
8	Kブロック勝者	大曽根C
9	Lブロック勝者	樽町中地区
7	Mブロック勝者	太尾白樺
11	Nブロック勝者	大曽根ペタンカーズ
3	Oブロック勝者	いつなNo.2
8	Pブロック勝者	城郷D

●参加54チームを16ブロックに分け、予選リーグを実施  
●決勝戦及び3位決定戦は13点先取(時間無制限)

## かながわ・ゆめ国体出場チーム選抜 港北区綱引大会を開催

7月20日(祝)、松下通信工業(株)体育館にて港北区指主管(横浜市綱引連盟協力)で港北区綱引大会が開催されました。この大会は、ゆめ国体開催に伴って実施され、一般県民が参加できる綱引競技に出場する区代表チームを選抜するための大会として開催されました。男子6、女子2チームによって区代表の座が争われ、各チームの応援団からは盛んな声援が飛んで大いに会場を盛り上げました。男子は「だいあんA」、女子は「太尾町会」チームが優勝し、10月25日に大磯町で行われる本大会への出場権を獲得しました。

### ◆港北区代表チームの綱引競技大会結果

男子「だいあん」	6戦2勝4敗
女子「太尾町会」	4戦0勝4敗

### ☆綱引大会に参加して

綱引というと、小学校運動会や区民まつりで30人前後で引き合う程度の知識しかなく、正式の競技会は今回が初めてということで、申し込み期限も迫り俄チームをどう結成するかを考えた結果、ママさんソフトボールを中心に選ぼうということになりました。競技のやり方も全然知らない状態でしたが、予選当日に市連盟審判員の皆さんに親切にコーチして頂いたお陰で格好が付き、運良く網島地区のチームに勝ち区の代表となれました。

本大会では、善戦虚しく0勝4敗と残念な結果に終わり、大会を通して綱引きに関し港北区は他の区より5年以上の遅れがあると感じました。とは言え、公開競技な



▲10月25日の本大会で奮戦する「だいあん」チーム

がら国体の代表に選ばれたことは名誉なことで、選手の皆さんに大変喜ばれました。用具一つ無い状態からの参加は大変でしたが、選手は次の目標は勝つこと、とはりきっています。今後港北区で区内の多くのチームが参加できる大会を企画主催できるようお願いします。

(太尾地区 野本 征治)

幸運がある日突然やって来ました。7月20日綱引地区予選会に勝った時から、私達の夢はどんどん広がっていききました。と言っても競技としての綱引は全く初めてで何も分かりません。綱引連盟の方が手とり足とりの指導をして下さいました。大雨の夜もずぶぬれになりながら体育館に集まりました。練習の回数と共にチーム全体が一つの目標に向かって一生懸命になっているのが分かりました。いよいよ当日、たくさんの方々の応援を背に全員一本の綱に心と力を託してカー杯闘いました。結果は残念でしたがこの数ヶ月一つの事に一生懸命になれた事が宝です。「ありがとう、かながわゆめ国体」

(太尾町会チーム 小野 勝江)

## かながわ・ゆめ国体 横浜市炬火リレー実施



▲横浜アリーナ前でのB区間の出発式

### ☆炬火リレーに参加して

台風10号の接近により、朝から風雨の強い中での18日の炬火リレースタートでしたが私たちE区間を走る頃は雨も上がりました。

昭和30年の第10回国体では、秋晴れの中、保土ヶ谷区へのリレー。区長を先頭に国体旗を6名で持ち総勢20名で走りました。車は少なく、砂利道を晴天に恵まれた中の快適な走行であった事が思い出されます。

私は、体を動かす事が好きで、戦後網島駅伝(網島一

尻手-東神奈川-六角橋経由網島の2周りを6名でリレー)には主催者側で協力すると共に尻手東神奈川間を走りましたが、最近では運動をする事も少なく、今回完走出来るの心配でした。しかし体育指導委員その他ボランティアの方々のご協力、そして沿道の声援に励まされ無事完走することが出来ました。今回の国体に2度目の参加ができ、大変名誉な思い出をつくりました事を皆様に厚くお礼申し上げます。(大曽根地区走者 富川 昇)

国体の開会式を一週間後に控えた10月18日、多数のランナーによって炬火が港北区中をリレーされましたが、季節外れの台風による風雨のため、私の持ち場の周辺には沿道の応援も少なく、ランナー達の折角の晴れ舞台に花を添えることができませんでした。

横浜高校の春夏連覇、横浜ベイスターズの38年振りの優勝、そして日本一への期待が膨らむ中、新築なった日本一の国際競技場で行なわれる「かながわ・ゆめ国体」へ向け益々の盛り上がりが見込まれていましたが、文字通り、台風の水を差された格好となってしまいました。

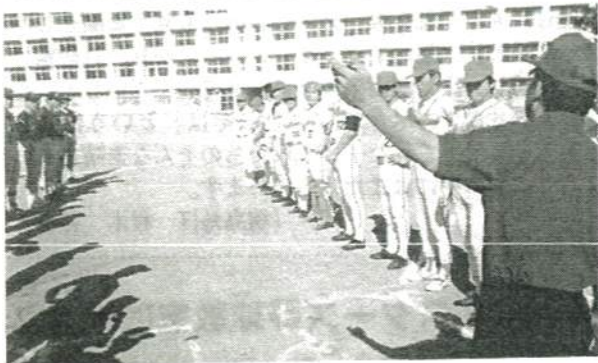
国体開催中も今ひとつ盛り上がりせず、長年にわたり準備してこられた関係各位の落胆ぶりは察するにあまりありません。スポーツへの関心は年々高まりを見せていますが、市民参加のイベントへの関心となると、我々体指が負うところも大でしょう。今国体は、今後一考を要する一つの分岐点なのかもしれません。

(大曽根地区 鈴木 徹)

## 地区活動紹介コーナー

港北区体指協の活動は、13の地区を基盤として行われています。このコーナーでは、各地区の活動を紹介していきます。

### 〈新吉田地区〉



▲新吉田地区 壮年ソフトボール大会

新吉田地区は所帯数6,500余、13の町内会で新吉田地区連合町内会を構成しています。各町内会が会館を所有し、地区活動の拠点として利用しています。地区内には小学校が多く南部の住宅密集地には新吉田小学校（児童数750名）自然の豊かな北部に新吉田第二小学校（児童数290名）そして西部の小高い閑静な場所に新田小学校（児童数500名）の3校があり、健民祭や盆踊り大会を持ち回りで開催しています。体育指導委員は男性11名、女性

1名、計12名で活動し毎月第3土曜日に定例会を設け情報の交換や意思の疎通を図っています。主な活動としては壮年ソフトボール大会を春季、秋季の2回開催しています。参加チームは町内会代表で8チームから10チームが2週にわたって伯仲した好ゲームをくり広げています。第1回大会から20年間、しっかりと定着し地域の交流の場として選手も楽しみにしています。

さて、なんと言ってもメイン行事は10月10日の健民祭です。体育指導委員を中心に運営され、7月には準備にとりかかり、9月はピークになり連日（土、日）の作業も多くなり、時には愚痴もこぼれますが、参加した人達が喜んでくれることを思うと、また気持ちを新たにしています。そんなガンバリ屋の仲間たちがいる新吉田体指です。

#### 〔平成10年度の主な行事〕

- 5月 春季壮年ソフトボール大会
- 10月 健民祭
- 11月 秋季壮年ソフトボール大会
- 3月 ゲートボール大会

(内田 達)

### 〈新吉田あすなろ地区〉

通称「あすなろ」は、発足してから今年で8年になります。以前は「新吉田」で、人口の増加と共に町会も増えた為、新田中学校を中心に、西の一部と、南北の広範囲に渡る連合町会ができました。

千葉会長、宇田氏、小笠原氏、藤田氏、青木氏、光成氏、紅一点の前田の7人は、体指の役目を果たしつつ、マラソン、ソフトボール、ソフトバレーといった地域の活動に積極的に参加し、交流を図っています。

特に、体育の日の11町会による恒例のふれあいフェスティバルでは、日頃鍛えた体力と知恵を発揮し、好評を博しています。現在5つある新進気鋭のマンションの自治体と重厚沈着の地域の町会のそれぞれがうまく溶け合い、地域の交流の場をつくりあげています。

ここであきれた話を一つ。今年のフェスティバルでの事。綱引きの第一戦で、あの太い綱がブツッ！綱は切れても、体指のチームワークで後への進行はうまく継がれた。

住民の年齢層構成が老若男女程良くバランスを保っている連合に於いて、7名の気持ちに溢れる体指の苦勞も「やりがい」の四文字に尽きるものです。

#### 〔年間の地区事業〕

- 5月 春季壮年ソフトボール大会  
(新吉田地区と合同開催)
- 8月 納涼盆踊り大会 2日間  
(連合町会主催)



▲あすなろ地区 ふれあいフェスティバル

- 8月 ふれあいフェスティバル体指打合せ会  
(体指：青指三役)
- 9月 ふれあいフェスティバル全体会議  
(体指：青指・11町会役員)
- 9月 ふれあいフェスティバル用具作成準備  
(体指7名)
- 10月 ふれあいフェスティバル大会  
(連合町会主催)
- 10月 秋季壮年ソフトボール大会  
(新吉田地区と合同開催)

注(1)毎月第3土曜日に定例会を行なっています

(2)毎月第2土曜日・第4日曜日

さわやかスポーツを新田中学校体育館にて行なっています。

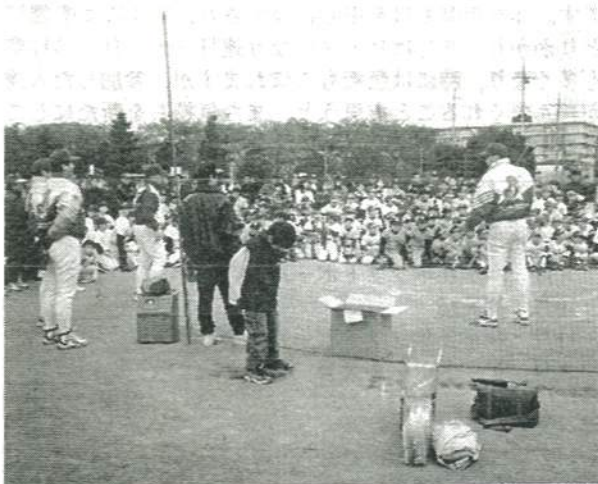
(前田 幸子)

## 「こども水泳教室に思う」

私の子供の頃には近くにプールもなく、大人の目を盗んでは早瀬川で悪仲間とよく遊んだものです。従って私の泳法は「でたらめ流」。趣味で行く海での船釣りの折なども、「この船が転覆したらどうしよう」などと不安を感じてしまう有様です。こんな私で大変無責任のようですが、ここ何年間か水泳教室のお手伝いをさせていただいております。今年の会場は大曾根小学校で、私は最終日の当番でした。当然のことながら炎天下での仕事は楽とは言えませんでした。富川会長さんをはじめとする地元大曾根地区の皆様にご敬意を表す思いです。又、一時も止まることなく勇気づけながら指導されていた先生

方にも心を打たれました。そして子供たちの持つ力にも驚かされました。すでに一人一人が自分の力の限界近くまで頑張った上での最終日であるにもかかわらず、先生の熱意に応えるかのように確実に上達していく姿が見られました。ましてや、期間中を通して子供達を見つめて下さった大曾根の体指の方々には、私に増して子供達の持つ力の素晴らしさをお感じになったことと推察します。緊張し、大きく息を吸い込み、苦痛にも見える顔をして懸命に手と足を動かす子。そして立ち上がり、目標地点まで到達し、正に満面笑みを浮かべて喜んでいる子。目標地点の寸前で力尽き、「この次こそは」という悔しさの表情を見せてくれた子。子供たちのそんな素晴らしい姿が私の頭の中にはまだ残っています。

(網島地区 程木 邦海)



▲少年野球を指導中の  
駒田選手、島田選手、小桧山選手、山下コーチ

## 横浜ベイスターズ野球教室に協力

11月22日(日)、区内太尾町の太尾小学校グラウンドにて横浜ベイスターズ野球教室が開催されました。今年、見事38年ぶりの優勝を決めたヒーロー達を迎えてのこと、例年に比べギャラリーも大幅に増え混乱も予想されましたが、地元・太尾体指の協力のもと、無事選手による実技講習が行われ、コーチとして来場した駒田選手らがグラウンドに姿を現わすと会場を埋め尽くした二百人を越える子供たちから大きな歓声が上がりました。

選手たちの指導が始まると、子供たち表情も真剣そのもの。中には、緊張のあまり失敗する子もいましたが…。最近ではリトルリーグに参加する女の子も少なくないらしく、今の時代を象徴するようです。ともあれ、子供たちにとっても、スポーツの秋の終わりに相応しい印象深い一日となったことでしょう。

## 横浜マラソン沿道警備に参加して

11月22日の大会当日朝七時半、公園には既にウォーミングアップを始めている参加者たちがいた。スタートは2時間以上も先である。「本当に走ることが好きなんだ」そんな姿を見て一気に身が引き締まる思いがし、少しでも走り易くしてあげようと気合が入った。

マラソンがスタートし、前を走り過ぎる参加者の表情が、秋晴れの横浜のまことに一際輝いて見えた。

終盤を迎え、ゴールした参加者が参加賞を貰いに来る様子を、通路を確保しながら窺っていた。すると、誰もが疲れた様子もなく、むしろ爽やかな様子で満足げな笑みを浮かべていた。

「お疲れさま！」私は心からそう言っていた。

(網島地区 新屋 茂)



▲横浜マラソン(16km関門にて)

### 港北体指主催

1月17日(日) 港北駅伝大会

3月7日(日) グラウンドゴルフ大会

港北区体育指導委員連絡協議会では、平成10年度終盤の事業として、平成11年1月17日(日)に第14回港北駅伝大会(港北区陸上競技協会主管)を、3月7日(日)に第12回港北区グラウンドゴルフ大会を開催します。寒気を衝き27kmを走る駅伝大会、春霞の中を老若男女が集うグラウンドゴルフ大会。両大会をお楽しみに。

### 編集後記

港北体指広報誌「活き生き体指」も次号が8号目。レギュラー記事の「各地区活動紹介」がラストの高田地区を迎え最終回となります。ついでに、新しいレギュラー企画については是非ご意見・ご要望をお寄せください